

認定ポイント対象研修申請に関する要項

1. 認定ポイント対象研修に関する審査は、「研修を開催する団体に関する審査」およびその団体が開催する「研修に関する審査」の2段階構成である。両審査とも基準を満たした場合、認定ポイント対象研修として認める。共催の場合、どの共催団体が申請しても良い。

研修に対して認定番号を付与する運用であり、過去に団体に関する審査で承認を得ている場合でも、研修毎の申請が必要である。

2. 団体に関する認定基準

- 1) 会則・規約がある
- 2) 医療専門職が代表者である
- 3) 会員資格に医療専門職が含まれる
- 4) 日本腎不全看護学会会員が申請者である

3. 研修に関する認定基準

- 1) 慢性腎臓病の療養指導に関わる内容を主とする
- 2) 慢性腎臓病療養指導看護師（CKDLN）にふさわしい水準を保っている
- 3) 参加資格に看護職が含まれる
- 4) 研修時間が90分以上である（※1）
- 5) 研修の参加者に対し、受講終了後に参加証が発行される（※2）
ただし、研修時間の4/5時間以上の参加を必要とする
- 6) 営利企業主催ではない（営利企業との共催は可）（※3）
- 7) 営利目的ではない

※1

- ・ 特定の薬剤や機器等の宣伝の時間は、研修時間に含まない。
- ・ 挨拶等の時間は、研修時間に含まない。

※2

- ・ 参加証には、下記項目を記載すること。
- ・ 認定ポイント数は、日本腎不全看護学会ホームページ上のCKDLNポイント一覧表を確認すること。
 - ・ 研修名
 - ・ 開催年月日
 - ・ 参加者氏名
 - ・ 承認認定番号（JANN認定第20XX-XXX号）
 - ・ 認定ポイント
 - ・ 研修主催団体
 - ・ 研修主催団体の押印（共催の場合は、どの団体の押印でも可）

※3

- ・ 営利企業主催の場合は、「認定ポイント対象企業主催研修申請に関する要項」をご覧ください。

4. 申請方法

- 1) 認定ポイント対象研修申請システムから以下の書類を提出する。
 - ・団体に関する資料（会則または規約、代表者や会員資格がわかるもの）
 - ・研修の概要（研修の内容がわかるもの）
 - ※研修案内のちらしやパンフレット等のいずれかに
「日本腎不全看護学会認定ポイント対象研修（申請中）」と正しく記載する。
正しく記載されていない場合は承認できない可能性があります。
- 2) 団体に関する認定基準4) のとおり、日本腎不全看護学会会員が申請者となる。
- 3) 審査料として1,100円（税込）を納付する。

5. 申請期限

研修開催日の2ヶ月前まで

6. 審査方法

申請書類をもとに、認定委員会にて審査を行う。

7. 審査結果の通知

日本腎不全看護学会事務局を通じて、申請担当者あてに審査結果を通知する。

8. 移行措置と認定番号

2024年3月31日をもって移行措置期間は終了し、2024年4月1日から研修毎の申請が必要である。

2023年11月20日 施行

2023年7月29日 改定

2024年4月1日 改定

以上